

## 夢と希望と勇気を語る —— 日本語スピーチ発表会

一連の草の根国際交流プログラムの中でもメインイベントに位置付けられるのが「日本語スピーチ発表会」だ。

第38回 日本語スピーチ発表会は、10月10日(木)に日本アセアンセンター(東京)で開催され、9人の代表が見事な日本語スピーチを披露した。

(主催=日外協、共催=日本アセアンセンター、後援=国際交流基金、協力=早稲田大学・国際学生友好会)



### 将来の夢や目標に向け

開会挨拶に立った日外協・上野幹夫会長(中外製薬(株)特別顧問)は、出席者・関係者に謝意を表明するとともに、38回目となる今回までの発表者の累計が379人になることを紹介。家族や関係者を含め、交流の輪が大きく広がっていると語った。そして、発表者たちに「日頃の成果を存分に発揮してほしい」と述べた。



上野 幹夫氏

国際機関 日本アセアンセンターの藤川尚子氏(観光交流チーム 事業部長代理)は、この発表会はまさに日本アセアンセンターの活動の四本柱 —— ①貿易 ②投資 ③観光 ④人物交流の1つである人物交流そのものに当たると強調。リラックスして自分のペースで、とっておきの思い出をつくってほしいと、発表者たちを励ました。



藤川 尚子氏

続いて9人の発表者が次々と登壇しスピーチ。将来の夢や目標への挑戦を日本語で披露した。

講評に立った桜美林大学・馬越 恵美子名誉教授は、どれも心温まる感動的なスピーチだっ

たと述べ、一人ひとりの健闘をたたえた。

最後に日本アセアンセンター・日外協それぞれの活動主旨に合ったスピーチを表彰する特別賞が発表され、ウライポーン・スヴァンナブットさん(ラオス)の『推しのいる人生』が「日本アセアンセンター事務総長賞」に、ダヤンク・ヌル・アズミナ・ペンギラン・ハジ・アammadさん(ブルネイ)の『人生には「タイムライン」なんてない』が「日外協会長賞」に選ばれた。



(日本ASEANセンター事務総長賞)



(日外協会長賞)

### 海外からも声援

発表会には、カンボジア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイの各国大使館のほか、関係団体、発表者の友人など、約50人が出席。また、発表会の模様はオンライン中継され、発表者の家族をはじめ友人、日本語スピーチ・コンテストの各国開催団体などの関係者が海外から声援を送った。



## 各国代表の日本語スピーチ要旨 (発表順)



タイ

### 私のたたかい

チャライラット・ドラティブさん

私は24歳ですが、身長は143センチです。昔はこの小さい体があまり好きではありませんでした。何をすることも不便でした。毎日、身長が伸びるようにお祈りをしていました。でも、身長はあまり伸びなかったので諦めて受け止めることにしました。

私の体が小さいのは「腎臓病」のためです。7歳の時から薬をたくさん飲まなければなりません。初めの頃の症状は全身のむくみでした。私は「腎臓病って何ですか?」「どれほど深刻なんですか?」とお医者さんに聞きました。腎臓病がどういうものか、全然知りませんでした。「普通の風邪だ」「薬を飲めばすぐに治る」と思っていたのですが、現実とは全然違いました。小学校の時は、何度も入院しました。退院すると、全部の宿題を先生に出していました。試験を受けてやっと卒業することができました。卒業後、進学しようと思っていたのですが、持病が悪化してしまったので、進学を諦めました。それから7年間も教育を受けられませんでした。その間、いろいろなお医者さんに診てもらいました。遠くまで行きました。苦くてまづい薬草も飲まされました。私にとっては、とてもつらいことでした。でも教育を受けるために、できるだけ早く治るように、飲むようにしました。しかし、最後は腎不全になってしまいました。とても悲しかったです。

家族はいつも私を応援してくれました。だか

ら、諦めませんでした。腎臓移植を待つ間は透析を受けていました。15歳になってやっと移植してもらえました。でも移植された腎臓に慣れるまで3年かかりま

した。お医者さんからは厳しい言葉も言われましたが、やっと元気になりました。お医者さんは「もう学校へ行けるよ」と言ってくれました。すごくうれしかったです。

勉強する時は、楽しくてワクワクします。知識を増やすと世界が広がります。それにやさしい友達に会えるし、親切な先生にも会えるし、疲れますが楽しいです。この病気は合計11年かけて治しました。とても長かったです。

やっと冬が終わって春が来ました。体調は100%元気ではなくても、私の心は100%以上元気です!



ニックネームはオムです。映画を見るのが好きです。もちろんアニメも好きです。小学生のとき、『ドラえもん』と『ドラゴンボール』のオープニングテーマを聴いて、日本語が好きになりました。文字もかわいいと思います。日本は初めてです。新宿東宝ビルにあるゴジラの写真を撮ったり、上野恩賜公園に行ったり、おいしいデザートを探して食べたいです。

インドネシア

### 機械翻訳

ムハマド・サトリア・ラマダンさん

私は日本語を勉強している学生です。

ある日、「中級作文」という科目で、習った



(注)インドネシア大会は 2019 年からモニター使用の日本語プレゼンテーション大会

単語を使って、日本語で作文を書き、みんなの前で発表するという課題がありました。発表していた時は緊張していて、先生や同級生から質問されて大変でしたが、うまくいったと思いました。

ところが、私の次の人の発表に驚きました。私には難しい言葉、読めない漢字、勉強した記憶がない単語……、彼が何を言っているのか、全く分かりませんでした。もしかしたら、彼は天才で、もっと上級レベルの学生かもしれないと思いました。しかし、先生が彼に作文の内容や単語などについて質問すると、彼は答えられませんでした。どうやら彼は、機械翻訳を使って作文をつくり、その結果をチェックせずに、そのまま発表したみたいです。

機械翻訳は世界中の人々に使われている、技術の進歩のかたちの1つです。私のように、言語を勉強する学生として、機械翻訳はとても便利で役に立つと思います。無料ですし、使い方も簡単で、仕事が楽になります。それに現在、人工知能の技術の発展で、翻訳の正確さがさらに改善しています。

しかし、機械翻訳はエラーやバグが多いです。入れたキーワードが間違っていれば、意味がずれてしまいます。また、機械翻訳を使いすぎると、自分の能力の成長に大きな影響があります。先ほどの友達の話のように、翻訳した文章の意味を分かっていないと、文章を理

解しないまま課題を終了するだけになってしまいます。勉強にならないし、課題を与えられた意味がなくなります。

現在、機械翻訳はまだいろいろ欠けています。バグやエラーを再確認する必要があります。人工知能の発展とともに、機械翻訳が翻訳者という人間の仕事を置き換えてしまう未来が来ることが心配されています。

皆さんはどうしたらいいと思いますか？

もっと自分の知識を広げて、自分自身がかけがえのないものになれるようにスキルアップし、それでも、足りないところは人工知能・技術にカバーさせるのです。技術に支配されるのではなく、技術を利用するのです。私たちはもっと勉強しなければなりません。



21 歳です。サトと呼んでください。アニメが好きで日本語を勉強し始めました。日本では、アニメに出てくるものが本当に実在するのかを確かめたいです。あと、アニメの他に好きなのはやはりスポーツ、特にバスケットボールです。



シンガポール

**私、新米です。**

ウー・ナンさん

私は新米社員です。去年大学を卒業して、ソフトウェアエンジニアとして採用されました。新米の私の仕事は、バグを直すことです。バグが多いときはとても忙しいですが、バグが少ないと、暇になります。そんな時、こっそり日本語の小説を読んだりしています。実はこの前、スマホを見ているところを上司に見つかってしまいましたが、上司は「今日はバグがなくてよかったね」と言いました。

初めての職場はカジュアルで、私にとって居

心地のよい職場です。この1年間、上司がスーツを身に着けているところも、名刺を出しているところも1度たりとも見かけたことはありません。「遠慮はいらないよ。分からないことがあったら何でも聞いて」と言います。ですから、気軽に話をしています。



仕事に油を売っているのは私だけではありません。お手洗いにいった帰り、スマホゲームをしている同僚を見かけて、「なんて大胆な」と驚いたことがあります。お昼ご飯のあと、居眠りしている同僚も見かけます。

こんなゆるい職場環境でも新米の私はいろいろな困難を経験してきました。バグではないのにバグだと勘違いしたお客さまがいました。いくら説明しても納得してもらえず、怒られてしまい、落ち込みました。次の日、先輩がそのお客さまを説得してくれました。先輩が問題を解決してくれたのに、先輩は私に「2人で一緒にやったんだよ」と、私の手柄を褒め、新米の私を認めてくれました。「いつか自分もそういう先輩になりたい」と思うようになりました。私は今の職場は働きやすいと思っはいますが、時々このままでいいのだろうか、という疑問を抱く時もあります。会社への帰属意識が高まらないのです。「将来、転職しますか？」と聞かれたら、「はい、チャンスがあればします」と答えるでしょう。

日本の会社に勤めている友人は、「うちの会社」と言います。彼女の上司は、常にスーツを着て、名刺交換も欠かさないと言います。社員

も皆、真面目で、朝礼も飲み会もあるし、お互いに尊敬語や謙譲語を使って、丁寧に接しているそうです。「本当に日本の会社はフォーマルなのだ」と感心しました。

日本の若者の離職率は3割ほどです。その主な理由は、上司や同僚に相談できない、あるいは、助けを求めにくい職場環境だそうです。若者が働きやすい職場をつくるには、助けを求めやすい環境が大事だと思います。

シンガポールにも日本にも、かつての私のように1人で問題を抱えて苦しんでいる若者がいるのではないのでしょうか。問題を解決できないままだと、いずれ小さな問題も大きな問題になり、もっと迷惑をかけてしまいます。

この1年を経て、自分で対処できないと判断したら、その迷惑がまだ小さいうちに先輩や上司に助けを求めるのが最適だと学びました。助けてもらうことによって、同僚への信頼感も増し、会社への帰属意識につながるのではないのでしょうか。



はじめましてウーナンです。日本語を学び始めたのは13歳の頃、日本のアイドルグループが好きで、日本語の塾に2年ほど通いました。今の趣味はゲーム、ゲーム実況動画、日本の小説や漫画です。日本語ができてよかったと思います。オタクとしての推し以外、大好きなことは猫ちゃんとワンちゃん(と全てのかわいい動物)と料理です。

カンボジア

## 失敗は経験だ

ヌン・リアッチニーさん

皆さん、他の人から「失敗は経験だ」と言われたことはありますか？ この言葉を信じていますか。





私が日本語を勉強し始めた時、日本語クラスには19人の友達がいまいました。その中に「失敗することは良い経験だ」とよく言う友達がいまいます。いつも、試験の後、一人ひとりに「失敗することは良い経験だ」と言っ

ていました。私の勉強しているセンターでは1年に4回試験があります。中間試験が2回と期末試験が2回です。試験の後、結果について心配になりますよね。しかし、結果が出る前に、この友達は「大丈夫、大丈夫、失敗することは良い経験だよ」と言います。

1・2年生の頃、私は失敗をネガティブな結果と考え、それを避けようとしていました。だから、失敗について考えると落ち込んでしまっ

て、泣いて、自分を責めて、できるだけ早く忘れたいと思いました。しかし、いつも私を信じて諦めないように応援してくれる友人を見るたびに、頑張らなければならないと考え直しました。それでも、失敗した時は、いつも時間を戻したい、失敗しない人になりたいと願っていました。

しかし、母は「世界中で失敗しない人なんていないよ」と私に言いました。「へえ！ お金持ちも失敗するの？」と私は聞きました。母は「お金持ちの人も間違いや失敗したことがあるでしょう。でも、その人たちは自分の間違いから学んで、何回も成功するまで頑張ったんだよ」と言いました。

失敗しても、それを次に生かせるかどうか

大切です。失敗は新しい学びになり、個人の成長となり、そして最終的には成功につながるカギとなるからです。これが「失敗することはマイナスではなく、良い経験だ」という考え方の基本になっています。実際に失敗を経験した人は、これから初めて取りかかる仕事にも失敗を恐れずに積極的に取り組んでいけるのではないのでしょうか。失敗から学ぶには、失敗を成功へのプロセスだと考えて、チャレンジを続けることが大切です。

皆さんは、失敗したら、どうしますか。自分を責めますか？ 泣きますか？ その失敗から何を学びますか？



ニーです。カンボジアから来ました。大学の法学部の4年生です。私は韓国と日本のドラマとアニメに興味があります。子どもの頃からナルトというアニメを見ています。アニメを見る際に、英語の字幕で見なければならぬのがとても面倒なので、日本語を勉強し始めました。サッカーの試合を見ることも大好きです。



マレーシア

## 私は何になりたいの？

アズミール・ハムジ・ビン・ノルマンさん

私は子どもの頃、周りの人によく「大きくなったら何になりたいの？」と聞かれました。多くの人が同じ経験をしていると思います。そして、面白いことに、その質問は今でもまだ私の心に残っています。

今の世の中、「良い」キャリアをつくることには多くのプレッシャーがあります。良いキャリアとは、どういう意味でしょうか？ 高収入の仕事を見つけて、素敵な家や車を買ったり、好きな人と結婚したりすることだけでしょ

うか？ それとも、本当に楽しいと思えることを



することなので  
しょうか？

子どもの頃、母はいつも私が素晴らしい教師になれると言っていました。少し大人になって、私はクリニックで医者になることがかっこいいと思うようになりました。私の夢

は変わり続けました。ピアニストになりたいと思ったり、プロゲーマーやサッカー選手になりたいと思ったり、インフルエンサーになりたいと夢見たりしました。

今思えば、当時はそれが簡単に思えたからかもしれませんね。しかし、今、私は生物医学工学を学んでいます。ある時、医療ドラマに夢中になり、直感的に自分もこうなりたいと思ったのがきっかけでした。

夢を追いかける時、未知のことへの恐れや失敗はつきものです。自分の努力が報われないかもしれない、こう考えるだけで夜眠れなくなることもあります。

実際に、私は JLPT(日本語能力試験、レベルが高い順に N1～N5 までである)の N4 に 3 回も不合格になりました。留学の準備が足りなくて友人の中で私だけ行けなかったりしたこともあります。トレーディングで大もうけしようとして、結局赤字になってしまったことさえありました。思い返せば、私の人生は夢がなかったことより、かなわなかったことの方が多いかもしれません。

しかし私は、全ての挫折は再挑戦への準備期間であると信じています。私は先ほど言ったよ

うな失敗のおかげで、より理想の自分に近づけることができていると思います。JLPT に何度も落ちたおかげで、もっと日本語を勉強しようと思えるようになりました。トレーディングに失敗したおかげでお金について詳しくなることができました。そして、留学をしなかったおかげで今の大学で夢中になっていることを学ぶことができます。こう考えると、過去の失敗は、未来へのキャリアの滑走路かもしれません。

私たちの人生は、誰から見ても理想的なキャリアを見つけるためにあるわけではありません。大切なのは、自分にとっての喜びと満足を見つけることです。私自身も、もしかしたら 10 年後にはまた別のことに夢中になっているかも知れません。

「大きくなったら何になりたいの？」と聞かれた子どもの頃のように、いつも自分が夢中になれることを追い求めていたいと思います。■



「ジミーさん」と呼んでください！

24 歳で、今年の 8 月に工学の学位を取得しました。趣味は読書、サイクリング、ピアノを弾くこと、音楽を聴くこと。そして新しい言語を学ぶことが好きです。日本語を勉強し始めたきっかけは、日本人の友達とずっと話したいと思ったからです。日本の歴史や文化をもっと深く学びたいです。

ラオス

## 推しのいる人生

ウライポーン・スヴァンナブットさん

皆さん、「推し」という言葉を知っている人はいますか？ 推しがいる時といない時は何か違うことはありますか？

この「推し」は、「ドアをプッシュする」の「押し」ではなく、見返りを求めず応援したい、他の人に勧めたいと思うほどに好感をもってい



る人のことです。推しとの距離を縮めたい、親密な関係になりたいという感情は含まれていません。例えば、「私はこの人を推しています」と言うと、それは「私はこの人を応援しますよ」という意味です。

私は以前にも日本語を勉強したことがありましたが、難しくてなかなか上手にならないのでやめました。けれどもある時、運命の日が来ました。いつもと同じように、ただ YouTube で面白い動画を見ていたところ、ある日本人グループの生放送が目に入りました。ひらがなとカタカナしか分からなかった私は、なんとなくその動画を見ていました。見ても聞いても何も分からないのに、魔法にかかったように好きになってしまいました。私は再び日本語を勉強し始めました。そして何と、去年の日本語能力試験では N2 を取るほどになりました。頑張って勉強した自分を誇りに思いました。

しかし、ラオス人にとって推しはまだ新しいことなので、時々クラスメートや親戚からは変な目で見られたり、非難されることもありました。そんな時は、もう推しをやめようと思うこともありました。でも、私は推しがきっかけでまた日本語を勉強し始めて、いろいろなことに挑戦して、人生のモチベーションができたのです。推しを好きになって応援することは本当に素晴らしいことだと思いませんか？

実は、推しができた時から自分が変わったということが分かりました。例えば、3～4年前なら、こんなに人がたくさんいるところで話を

するのは死ぬほど怖いことだと思っていたので、絶対にやらなかったでしょう。

でも、今ここに立っています。そして、胸を張って堂々とみんなに伝えたいです。「私には推しがあります！ これからも推しを続けます！」



ニックネームはパーです。「パー」はラオス語で「魚」という意味です。しかし、少し面白いことに、実は魚があまり好きではなく、水泳もできません。どうして魚の名前なんだろうと、いつも不思議に思っています。現在、日本に留学中です。アニメも好きですが、日本語の勉強を続けてくれたのは、私の「推し」の歌い手たちのおかげです。

### ブルネイ

人生には「タイムライン」なんてない  
ダヤンク・ヌル・アズミナ・ペンギラン・ハジ・アammadさん

私は今年で33歳になりました。皆さん知ってましたか、女性の平均寿命は73.9歳です。私はもう半分近くまでできています。

20代の頃、私の親戚や同僚がいつも「何でまだ結婚してないの？」と聞いてくるのが面倒で、プレッシャーを感じていました。正直に言って、人生において他の人より遅れていると感じていました。親戚や親友や知らない人も、みんなうまく人生を歩んでいるように見えました。

驚いたことに30歳になると、誰も私にこの質問をしてこなくなりました。みんな私のことを「もう手遅れだ、彼女は老けすぎた」と思ったようです。30歳になった時、私はまだ結婚もしていないし、子どももいないし、家を買う準備もできていませんでした。でも不思議とプレッシャーがなくなって、自由を感じました。

30歳になってから、たくさんのことを試してみたり、学んだりしてみました。たくさん旅行して、いろいろな国の人たちと出会って、たく

さんの新しい友達  
ができました。文  
化の違いがあるに  
も関わらず、私た  
ちはみんな同じよ  
うな経験をしてい  
ます。人生に同じ  
ような不安や恐れ  
を感じています。

中学生の頃から  
アニメと漫画が好  
きだったので、ずっと日本語を勉強したかったの  
ですが、いつももう手遅れだと思っていました。

今一番誇りに思っているのは、30歳の時に  
日本語を勉強し始めたことです。日本語の勉強  
はとても楽しいですが、まだあまり上手ではあ  
りません。今日、私は日本語弁論大会のために  
ここにいます。とても緊張していますが、やっ  
てみることにしました。

この数年間、いろいろなことに挑戦できてと  
てもうれしいです。これからも多くのことを成  
し遂げて、自分のために自分の人生を生き続  
けていきたいです。何回失敗しても、挑戦し  
続けることが大切です。「七転び八起き」とい  
う言葉がありますね。人生において遅すぎる  
ということはないです。20歳、30歳、40歳、50  
歳、60歳からでもいいんですよ。何歳からでも、  
挑戦できます。皆さん、人生は短いですから自  
分の人生を自由に生きてください。 ■



ミナです。大学で、クリエイティブ・ラ  
イティングや詩や映画づくりを教えてい  
ます。日本語を勉強し始めた理由は、あの  
時コロナで毎日家にいて本当につまらなかったか  
らです。ずっと日本語を勉強したいと思っていま  
した。日本で新しい友達をつくりたいし、たくさんお  
いしいものを食べたいです。



フィリピン

## 外国語の勉強を通しての人と人のつながり ジェーコブ・ノエル・フエンテベリヤさん

皆さんは外国語を勉強したらどのような利益  
が得られると思いますか？ 字幕なしでアニメ  
を見られること？ またはアニメの歌を日本語  
で歌えるようになること？ 確かにいろいろな  
利益がありそうですが、私は外国語を勉強する  
メリットを、私自身の韓国語勉強経験に基づい  
て説明しようと思います。

韓国語の勉強を始めた理由は、K-POPと韓  
国ドラマにすごく興味をもって、いつか私が好  
きなアイドルとか俳優と結婚できるんじゃない  
かなと思ったからです。それは、あまり現実的  
な目標ではありませんでしたが、けっこう効果  
的なモチベーションになりました。

勉強し始めて1年半ぐらいたってから韓国に  
留学することになりました。しかし、私が行っ  
た学校には英語がとても上手な学生ばかりいま  
したので、韓国語の練習がなかなかできませ  
んでした。

そんなある日、私は英語が全然話せない韓国  
人と授業で一緒になりました。その授業は全  
て英語で行ってい  
たために、その韓  
国人は授業につ  
いていくのが大変  
そうでした。そこ  
である日、その学  
生に話しかけてみ  
ました。「あの、私  
は韓国語が少し話  
せますけど、もし  
よければ英語のサ





ポートできますよ」と提案しました。すると、本当にうれしそうな目で私を見ながら、「お願いします!」と答えてくれて、私はついに韓国語を練習する機会を得ました。

一緒に勉強する以外にも、時々その人から誘われて他の韓国人と一緒にピクニックしたり、遊んだりできました。それだけではなく、友達が韓国についていろいろなことを紹介してくれ、私が韓国でやりたかったことより多くのことを経験できました。その韓国人と仲良くなったおかげで韓国についての表面的な知識だけではなく、韓国人の文化までさらに深く学ぶことができました。

韓国語での経験をきっかけに日本語の勉強も始めることを決心しました。韓国のすぐ隣にある日本がどのような違う魅力をもっているか気になったからです。外国語を勉強するのは大変なことです。学んだ先には、新しく、より面白い世界を見つけられると信じています。 ■



25歳、会社員です。コービと呼んでください。私はいろいろな国の人と出会って話をするのが大好きです。おかげで、今ではフィリピン語、英語、韓国語、日本語の4カ国語を話せるようになりました! 他には、ダンスも本当に好きです。日本に来たからには観光を楽しむだけではなく、このイベントで出会ったみなさんとお話したり、一緒に遊んだりしたいと思います!

### ★ ミャンマー

#### 発音

モウ・ピエ・ピエ・サンさん

私は17歳で高校2年生です。日本語能力試験のN2レベルを合格して、今はN1を目指して勉強しています。外国語といえば英語しか習ったことのない私にとって、日本語の勉

強で1番困ったのは発音でした。

例えば、「つ」と「す」の発音はミャンマー人にとってはとても難しく、口に出すたび、いつも間違えてばかりでした。ある日、「月が好き?」と友達から聞かれた時、

「すき」というつもりが「うん、つきよ」と言ってしまうと本当に恥ずかしい思いをしました。「さん」と「せん」の発音も苦手です。「日本語を勉強してどれくらいですか?」と聞かれて、「さんねん」と答えたつもりが、相手には「せんねん」と聞こえてびっくりされたことがありました。そんなミスを2度とやってしまわないように、「どうしたら発音がもっとうまくなるのか?」「どうやって練習すればいいのか?」といろいろ考えてみました。すると2つの解決方法を見つけることができました。

1つは「シャドーイング」という日本人のしゃべり方を聞いてその発音をまねする方法です。もう1つは毎日できる限り日本語を使って会話する方法です。勉強して、実際に自分がどれくらい話せるようになったのかを試してみる必要があります。私の場合は、周りで日本語を習っているのは自分しかいないので、毎日1人で鏡を見て会話練習をしました。でも、1人で話すだけだと、自分が言っていることが間違っているかどうか分かりません。日本語を勉強している人たちと話す方が、1人で話すよりもっと効果的だと思います。最初は「間違ったらどうしよう」と不安がありました。でも、周



りのクラスメートたちを見て「私も話せるようになりたい」と一生懸命頑張って、今は日本語を話すのが怖くなくなりました。

1つの言語を話せるようになるには、自分自身の努力と周りのサポートが必要です。継続的な練習と良いフィードバックを受けることで、より高いレベルの発音スキルが身につき自然な会話ができるようになります。

どんな問題であっても、解決方法は必ずあるはずです。やってみる前にできないと諦めないで、できるように努力することが大事だと思います。将来は日本に留学したいので、これからももっともっと頑張っていきたいです。



ニックネームは「モー」、17歳で高校2年生です。アニメとかドラマとか大好きで、いつも見えています。日本語に興味をもち始めたのもアニメの影響だと言えるくらいアニメが大好きで、日本で声優さんになるのが夢です。日本語を勉強すればするほど日本のいろいろなことを知ることができ、どんどん日本の生活とか文化とかに興味をもつようになりました。

このスピーチ発表会の動画を日外協ウェブサイト<sup>1</sup>で無料公開中！ぜひご視聴ください。



## まかれた種が花開く

〈講評〉 桜美林大学 名誉教授/異文化経営学会 会長  
馬越 恵美子先生

今回特に印象的だったのは、発表者の皆さんがとても仲良しで、互いに声援を送り応援し合っていたことです。

皆さんのスピーチの共通点を挙げると、失敗を乗り越える、チャレンジする、夢を追いかける、何より楽しく、そして、新しく始めるのに遅すぎることはない。どれも心温まる感動的な内容でした。

日外協の草の根国際交流は今年で38回目。長年にわたりまかれた種が、また、これからもまかれ続ける種が、東南アジア各国で、世界中で花が開き、平和な社会の実現に結びつくことを願っています。

残念ながら今、世界の状況は100%良いとは言えません。でも、ここにいる私たちは、



日本語スピーチ発表会名物の馬越先生の愛あるコメント



一人ひとりに語りかけ励ます

スピーチにもあったように、「心は100%以上ハッピー」でいきましょう！私の「推し」は、日外協の草の根国際交流です。

(まごし・えみこ)

桜美林大学教授・副学長、NHKラジオ英会話講師等を経て現職。博士(学術)。「ダイバーシティマネジメントと異文化経営」など著書多数。企業数社の取締役を務める。講演や執筆のほか、ジャズボーカルなど幅広く活動。異文化経営学会会長。